

● 「冬休み前全校集会」、新しい年へ



新年を迎えた校舎（生徒通用門から撮影）

冬季休業前の全校集会では、校長講話として「底力」をテーマとした話がありました。ある食品広告のキャッチコピーにあった「うまいかないとき、それでも続ける努力を底力っていうんだよ」という言葉を引用しながら、本校の課題研究の目標の一つである「レジリエンス」に通ずるものであるという内容でした。そして自分の課題にぶつかったときに、逃げずに気持ちを保ち続けることの大変さと大切さを確認し、新しい学年、新しい環境へ進もうとしている生徒一人ひとりを激励しました。

新しい年を迎えた本校では、1月に台湾生徒との交流会や、課題研究の発表会を予定しています。また3年生にとっては、大学入学共通テストを間近に控えた時期でもあります。それぞれが、それぞれの場所で、自分の底力を信じて取り組んでほしいと思います。

● 「みやぎのこども未来博」に参加



12月13日（土）宮城県行政庁舎で「みやぎのこども未来博～まなびの術～」が行われ、本校の課題研究班から3班が参加しました。

午前には、他校の生徒らによる3つの研究発表と、協働ワークショップが行われました。ワークショップでは「新聞紙で強度の高い橋をつくろう！」をテーマとして、他校の生徒と協働して課題を解決する活動を行いました。

午後には、ポスター形式での研究発表があり、本校の生徒も力強い研究発表を行って活発な質疑応答がなされていました。

最後に、宮城大学看護学群講師の金子健太郎先生による「身体の“見えない”情報を探る一心拍変動の研究から学んだこと」と題した基調講演があり、ここでも活発な質疑応答がなされました。一日の活動をとおして、探究的な学びについて大いに理解を深めることができました。また、今回参加した学校は、普通高校、実業高校、SSH指定校、DXハイスクール、中高一貫校など多岐にわたり、各校の特色ある学びに触れ、刺激を得られる貴重な一日となりました。



←写真（下）：ポスター発表を行う本校生徒

● 1・2年LHRで「ビブリオバトル」

12月11日(木)のLHRの時間に、1、2年生の各クラスでビブリオバトルが行われました。各自が読んで面白いと思った本を持参し、紹介と質疑応答を通して、「どの本が一番読みたいと思ったか」を投票し、「チャンプ本」を決めるというものです。

当日は図書委員が進行を担い、各クラスからは様々な本を手にして盛り上がる賑やかな声が聞こえてきました。生徒のアンケートには「読書の世界は自分が思っているよりも広いと感じた」「話す人の読んでほしいという思いが伝わり、質問も飛び交っていてとてもよかった」などの感想が寄せられました。



● 「救急救命研修会」を実施しました

12月24日(水)の午後に、仙台市太白消防署八木山支所の職員の方々をお招きして、救急救命に関する研修会を行いました。各部活動からの代表生徒と職員あわせて約40名が参加しました。心肺蘇生の流れを一人ひとりが体験し、部活動中に想定される事故や、通報時のスマホの活用の仕方、汗や湿布がある場合のAEDの使い方のポイントなど、具体的な場面を想定しながら学びました。

今回学んだことを各部の部員や家族など、身近な人と共有し、もしもの場面に出会った際に生かせるようにしてほしいと思います。



● 2学年「修学旅行」で関西方面へ



写真：京都・清水寺を見学する生徒

12月16日(火)から19日(金)にかけて、2学年が関西方面の修学旅行に行きました。

初日はユニバーサルスタジオジャパンを訪れ、移動の疲れを忘れるほど楽しむことができましたようです。2日目、4日目にはクラス別研修があり、各クラスで決めたさまざまな訪問先を巡りました。3日目の班別研修は、各班がテーマを設定して調べ、時間をかけて計画を立てて臨みました。

大阪・京都を中心として、歴史や文化、観光の様子を肌で感じながら、様々な視点で学ぶことができました。2年生はこれから、今回の学びを文集としてまとめ、互いに共有していきます。